

新ごみ処理施設整備に向けた取組状況について

新ごみ処理施設整備の基本的な方針をまとめた明石市新ごみ処理施設整備基本計画（以下、「基本計画」という。）の素案を作成しましたので、内容及び今後の予定について報告します。

1 基本計画（素案）の主な内容

(1) 処理方式、施設規模

	処理方式	施設規模 ※
燃やせるごみ	焼却処理 (ストーカ式焼却方式)	303t/日 (101t/日×3炉)
燃やせないごみ ・資源ごみ	破碎・選別処理 (プラスチック資源の 分別に対応)	【破碎系】25t/5h 【資源系】16t/5h (缶・びん・ペットボトル) 14t/5h (プラスチック資源)

※ 「明石市一般廃棄物処理基本計画」のごみ減量目標を踏まえ、2036年度の燃やせるごみ・燃やせないごみの量を2018年度から約20%削減として設定

(2) 施設整備運営事業方式

- ・事業方式 設計・建設・維持管理を一括発注するDBO方式（公設民営）
- ・事業期間 20年間

(3) 概算事業費（2019年度概算見積額、解体費含）

施設整備費：約418億円（うち市負担額約185億円）、運営費20年間：約256億円

※ 人口増加による施設規模の変更、プラスチック資源循環促進法への対応など見積条件が異なることや、原油及び資材価格の高騰など、社会情勢が変化したことから、今後の基本設計段階において国の交付金制度などによる市負担額の軽減も含め改めて検討を行います。

2 今後の予定

2022年(令和4年) 12月	環境審議会報告
2023年(令和5年) 1～2月	パブリックコメントの実施（1か月間）、地元自治会説明
3月	生活文化常任委員会報告（基本計画(案)） 基本計画策定
4月以降	基本設計業務着手

2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度	2025 (令和7)年度	～	2030 (令和12)年度
基本計画	基本設計・事業者選定			旧大久保清掃工場解体、 新施設建設	供用開始